

令和5年度（2023年度）
事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	守口門真商工会議所		
	代表者職・氏名	会頭 小倉 庸敬		
	所在地	〒571-0045 大阪府門真市殿島町6番4号		
	担当者	職・氏名	商工振興部 中小企業相談所 所長 赤堀 彰則	
		連絡先	TEL（直通）：	06-6909-3303
Fax：			06-6909-3409	
E-mail：	akahori@mk-cci.jp			
①設立年月日	昭和45年 4月			
②職員数 （うち経営指導員数）	18名（経営指導員15名）（令和6年3月31日現在）			
③所管地域	守口市・門真市			
④管内事業所数	守口市・門真市 合計11,009件（令和3年 経済センサス）			
⑤管内小規模事業者数	守口市・門真市 合計7,605件（令和3年 経済センサス）			
⑥会員数（組織率）	3,008件（組織率27.3%）（令和6年3月31日現在） ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること			
□主な事業概要（定款記載事項等）				
<p>(1) 商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること</p> <p>(2) 行政庁等の諮問に応じて答申すること</p> <p>(3) 商工業に関する調査研究を行うこと</p> <p>(4) 商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと</p> <p>(5) 商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査を行うこと</p> <p>(6) 輸出品の原産地証明を行なうこと</p> <p>(7) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること</p> <p>(8) 商工業に関する講習会又は講演会を実施すること</p> <p>(9) 商工業に関する技術及び技能の普及又は検定を行なうこと</p> <p>(10) 博覧会、見本市等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行なうこと</p> <p>(11) 商事取引に関する仲介又はあっせんを行なうこと</p> <p>(12) 商事取引の紛争に関するあっせん、調停又は仲裁を行なうこと</p> <p>(13) 商工業に関して、相談に応じ、又は指導を行なうこと</p> <p>(14) 商工業に関して、商工業者の信用調査を行なうこと</p> <p>(15) 商工業に関して、観光事業の改善発達を図ること</p> <p>(16) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行なうこと</p> <p>(17) 行政庁から委託を受けた事務を行なうこと</p> <p>(18) 商工業に関する図書を収集し、一般の閲覧に供すること</p> <p>(19) 前各号に掲げるもののほか、本商工会議所の目的を達成するために必要な事業を行なうこと</p>				

<p>(1) 事業の目標</p>
<p>商工業ともに事業を実施する中で、事業者が抱える課題の解決策の提示と実行支援及び支援機関等へのコーディネートを行う。支援方法として専門家や行政（守口市・門真市）、もりかど産業支援機関ネットワークと連携することで、「きめ細やかな支援」を実現する。商業は個店の魅力強化を支援すると共に、行政、商店街、商業団体と連携し、ITを活用することで活性化を図る。工業は幅広い連携体制のもと、認定事業や補助金等を活用し、当地域のものづくり企業の代表といえる事業所を複数発掘・育成することを目標とする。また、販路開拓支援として、総合展示会や個別商談会を実施し事業所の収益拡大を目指す。</p> <p>【事業体系】</p> <p>○商業関係：①小規模事業所来店促進事業（もりかどECマーケット） ②売りメッセ取引商談会in東大阪 ③小規模事業者向け販促Webサイト構築支援事業</p> <p>○工業関係：①守口門真ものづくり元気企業 ②大阪勧業展 ③ビジネスチャンス発掘フェア2023 ④北大阪高等職業技術専門校活用事業 ⑤ものづくり優良企業賞応募企業発掘・支援事業</p> <p>○全般：①創業塾 ②万博関連事業受注者登録システム登録促進事業 ③CSR普及啓発事業 ④SB/CB創出支援事業</p> <p>○税務、法務、金融、労務、その他に関する専門家による支援</p>
<p>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</p>
<p>長引くロシア・ウクライナ紛争や欧州経済の停滞、円安による原材料高騰と物価上昇が個人消費を抑制し、管内事業所の経営環境も厳しい状況が続いた。その影響を和らげるため、補助金の活用を促し、専門家による相談等の企業支援を実施。さらに、売上減少に伴う追加融資や借り換えの需要も見られ、日本政策金融公庫や地域の金融機関と連携して資金調達を支援した。</p> <p>商業分野では、販路拡大のためにWEBの活用は必要不可欠であり、ECサイト「もりかどECマーケット」を2023年版に刷新して、その重要性和効果を広く認識することに重点を置いた。SNS広告にLINEを追加し、集客や直接売上への支援を効果的に行った。</p> <p>工業分野では、「守口門真ものづくり元気企業」の認定を実施し、新たに2社を認定。また、認定企業を中心とした広域商談会を開催し、コロナ禍における効果的なマッチングを実現した。展示会事業では、展示会補助事業と連携して、延べ47社に販路開拓の支援を提供できた。</p> <p>創業支援では、創業塾を実施し、両市や金融機関と連携し、計画を大幅に上回る56名が受講した。</p>
<p>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</p>
<p>エネルギー価格と原材料の高騰、物価上昇に伴う実質賃金の低下による国内消費低迷といった難しい国内経済の諸課題に直面している状況の中、様々な業界の企業から資金繰りや補助金の申請に伴う事業計画の策定などの相談が増加した。その結果、迅速にハンズオン支援を提供し、販路開拓や設備投資について支援を行った。</p> <p>商業部門では、自社商品やサービスのECサイトでの表示方法を検討し、売上増加だけでなく、新規顧客獲得や既存顧客の満足度向上などの効果が報告され、個々の店舗の魅力強化に貢献した。</p> <p>一方、工業部門では、高い技術力を持つ事業所の発掘やブランド化を促進し、展示会やビジネスマッチングの機会を提供することで、新たな取引先や外部協力先の開拓につなげた。</p>
<p>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</p>
<p>物価高騰、人手不足など、中小企業・小規模事業者は引き続き厳しい経営環境にある中、価格転嫁に加えて、GX（グリーントランスフォーメーション）などの構造変化を新たな挑戦の機会と捉え、投資拡大や生産性向上、賃上げを促進することが重要であるが、事業所間の情報量・対応力の格差拡大していることが課題である。</p> <p>商業においては、各事業所の中でもECサイト活用やSNS等、DXに積極的な事業所とそうでない事業所の格差が広がる一方であり、人材不足も顕著である。</p> <p>工業においては、価格転嫁と人不足が深刻である。生産性を高めて競合他社と異なる価値を創出するための戦略と、人材の確保が課題となっている。行政や各種支援組織との連携を図りながら、中小企業の人材確保に繋げる必要がある。</p>
<p>(5) 次年度の取り組み</p>
<p>次年度は、引き続き巡回活動による事業所ニーズを把握し、個社支援を強化していく。また、物価高騰対策やカーボンニュートラルへの取組み、事業承継支援、賃上げ支援等の国や行政の支援を積極的に行っていく。</p> <p>商業においては、ECサイト活用を進めていくと共に、万博関連イベントへの出店を通して、機運醸成を高めながら商品・パッケージ改良等の付随するマーケティング支援に繋げていく。</p> <p>工業においては、商談会やビジネスマッチングなどを実施するだけでなく、製造業の若手後継者による繋がりや知見を深めるコミュニティを形成し地域の製造業のブランド化を進めていく。</p>

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 守口門真商工会議所

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

経営相談支援事業では、各事業所の幅広い課題に対して包括的な支援を提供することができた。守口門真ものづくり元気企業のステップアップを目指し、大阪ものづくり優良企業賞「匠」の受賞や各種補助金の申請支援など、事業計画書の作成支援にも積極的に取り組み、経営を見直す事業計画作成支援は目標を上回る実績であった。さらに、10月から始まったインボイス制度の導入に伴い、様々な経営環境に置かれている事業者に対して、的確に記帳支援を行うことができた。一方で、新型コロナ特別貸付の据置期間の終了により、借り換えや追加融資による資金繰り相談が出始めてきた印象である。創業支援に関しては、創業塾の受講者に対し、創業に向けたさまざまな支援を提供し、創業後も記帳支援や販路開拓支援など、積極的にフォローアップを行った。

【成果の代表事例】

①事業計画作成支援（特定創業支援制度ハンズオン支援にともなう創業計画書作成）

②金融支援（紹介型）

当事業所は令和2年4月に軽貨物運送業として開業。その後、令和3年10月にネット通販事業を始め、玩具・スポーツ用品・アウトドア用品・管理医療機器などを取扱っている。法人化を視野にいれ、設立時のコストを最小限にすべく、特定創業支援を実施。経営知識の習得と創業計画書の策定を行うため複数回のハンズオン支援を行い、結果、法人設立時における登録免許税の軽減を受け、無事に法人を設立。続けて、創業計画書をブラッシュアップし、日本政策金融公庫の創業融資実行に繋がった。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	345	322	93.3%	4
支援機関等へのつなぎ	支援数	15	12	80.0%	4
金融支援（紹介型）	支援数	27	24	88.9%	4
金融支援（経営指導型）	支援数	32	32	100.0%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	1	1	100.0%	5
資金繰り計画作成支援	事業所	2	1	50.0%	3
記帳支援	事業所	120	117	97.5%	4
労務支援	支援数	2	2	100.0%	5
人材育成計画作成支援	事業所	0	0	—	—
マーケティング力向上支援	事業所	3	1	33.3%	2
販路開拓支援	支援数	10	4	40.0%	2
事業計画作成支援	支援数	110	124	112.7%	5
創業支援	事業所	15	19	126.7%	5
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	3	1	33.3%	2
コスト削減計画作成支援	事業所	2	1	50.0%	3
財務分析支援	事業所	3	1	33.3%	2
5S支援	事業所	0	0	—	—
IT化支援	事業所	0	0	—	—
債権保全計画作成支援	事業所	0	0	—	—
事業承継支援	事業所	3	3	100.0%	5
災害時対応支援	事業所	0	0	—	—
フォローアップ支援	事業所	25	36	144.0%	5
結果報告	事業所	315	403	127.9%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

事業所が抱える課題に対して、専門的知識を有する専門家による相談を行った。弁護士による法律相談、金融関係者による金融相談等、企業の高度な問題の解決に向けて積極的な支援を行っている。今年度は働き方改革に伴う就業規則に関わる労務相談と、特許や商標登録に関するその他相談が増えた。また、インボイスに関する税務相談やISO、貿易実務等についても対応できるよう随時専門相談員と密に連携を取り、幅広い課題の解決に取り組んでいる。ものづくり補助金等の各種補助金申請相談や法人化への相談、創業者への専門的なマーケティング等の経営相談についてはその他相談で対応した。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	支援日数	事業評価
法務相談	継続	事業所	23	23	100.0%	23	5
税務相談	継続	事業所	25	25	100.0%	25	5
金融相談	継続	事業所	0	0	—	—	—
労務相談	継続	事業所	8	10	125.0%	10	5
その他相談	継続	事業所	44	47	106.8%	47	5

Ⅲ 地域活性化事業

支援のポイント・成果

地域巡回や経営相談支援などで得た事業者のニーズを参考に、事業の企画・改善を行うとともに、特にターゲットを絞った事業展開を重視した。地域経済の活性化を目指し、地域の中小企業や創業者に対して、さまざまな支援プログラムを展開した。これには、ビジネスプランの策定支援や資金調達のアドバイス、マーケティング戦略の構築などが含まれる。地域の経済環境や産業構造の変化に即座に対応するため、常に情報収集と分析を行い、適切な施策を打ち出すよう努めている。

創業塾では、SNSなどの広告を活用して受講者の確保に努めることで目標以上の参加者を獲得できた。商業関連の取り組みでは、「もりかどECマーケット」の2023年版を公開した。このサイトでは、72事業所の人気商品やメニューを紹介し、直接購入や予約ができるようになっており、地域メディアやSNS広告を活用して広報を行うことで、売上促進を図った。特にSNS広告は、メタプラットフォームズとLINEを使い分けることで目標値6,000に対して実績値18,948と、大幅に効果改善がみられた。ただし商品購入にまでは至るケースが少なく、集客については成功したもののセールスについては各店舗による商品見直し等の課題が残った。

また、売りメッセ取引商談会 in 東大阪では、7事業所が参加し、大手バイヤーとの商談を行った。工業関連の取り組みでは、「守口門真ものづくり元気企業認定事業」を実施し、2社を認定した。また、過去の元気企業認定事業所2社を「大阪ものづくり優良企業賞」に繋げるとともに、技術的な強みを活用するため、「ビジネスチャンス発掘フェア」や「大阪勧業展」などの展示商談会に積極的に参加を促した。

さらに、人材確保のために雇用支援機関や教育機関と連携し、人材の育成と確保を図った。今後も人材確保の問題が続くことが見込まれるため、時代のニーズに合った取り組みを検討していく。

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	小規模事業所来店者促進事業（もりかどECマーケット）	70	72	102.9%	51.4%	インターネット販売や予約サイトの改善をおこない、集客につながった事業所の割合	80	80.6	100.8%	4
○	創業塾	38	56	147.4%	100.0%	創業者数（次年度以降の創業者を含む）	10	20	200.0%	5
○	守口門真ものづくり元気企業	126	121	96.0%	71.9%	認定事業所のうち自社技術の強みを理解し、PRできた企業割合	70	100	142.9%	5

(2) 広域事業（幹事事業のみ）

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	万博関連事業受注者登録システム登録促進事業	60	41	68.3%	84.1%	万博関連事業受注者登録システムに登録した事業所の割合	80	84.2	105.3%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

守口門真商工会議所

事業名		小規模事業所来店促進事業(もりかどECマーケット)														
想定する実施期間		26 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること														
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	守口門真地域の商業活性化を図るため、個店の魅力強化を図り、地域に広くPRする。地域商業の課題としては、オーバーストア状態であることや、高齢化・後継者不足が引き続き挙げられることに加えて、物価上昇や円安、さらには令和5年春に大型商業施設が開業し、従来の店舗型小売・サービス業はより厳しさを増すと考えられる。本事業を通じて、小規模店舗が取り扱う商品の強化を図ると共に、新たな販路開拓に向けて、インターネット販売の活用を支援し、今後のメタバースへの進出を見据えた土台作りとする。														
	支援する対象 (業種・事業所数等)	自慢の商品(逸品)・サービスを持ち、インターネット販売の開始・強化に積極的な事業所を対象とする。														
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>○第1回商業振興委員会 令和5年6月26日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度事業の承認 ・実施スケジュールの確認 <p>○応募期間 令和5年7月4日(火)～8月28日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申込72件 ※応募企業については経営指導員により、効果的なPR方法について支援。 <p>○ホームページリニューアル 令和5年9月11日(月)</p> <p>○事業PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/5 ふるさと門真まつりでPR ・9/12 商工会議所SNSにて告知 ・9/15～3/22 SNS広告(Facebook・Instagram、LINE)配信 ・9/22 大阪府商店街魅力発見サイト「ええやん!大阪商店街」にバナー掲載 ・10/2 商工会議所ニュース10月号 ・11/1 門真市広報11月号 ・11/3～12/2 号外ネット ・11/5 守口市民まつりに出店(ECマーケット参加事業所の内、2事業所) ・12/1 守口市広報12月号 <p>○第2回商業振興委員会 令和5年11月22日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の事業経過報告 ・次年度の商業振興事業について 														
	<p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>守口市・門真市については、担当課長が委員会に参加。主に広報や公的施設での消費者への訴求を担当いただいた。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>既にEC販売に取り組んでいる経営相談事業者を本事業へ誘導した他、EC販売を行っていない事業者に対しては、webサイトの構築方法に関するセミナーを紹介する等支援を行った。また、中小機構の「ebiz」を活用し、希望者には外部専門家と面談いただき支援に繋がった。</td> </tr> </table>								①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	守口市・門真市については、担当課長が委員会に参加。主に広報や公的施設での消費者への訴求を担当いただいた。	④相談相乗	既にEC販売に取り組んでいる経営相談事業者を本事業へ誘導した他、EC販売を行っていない事業者に対しては、webサイトの構築方法に関するセミナーを紹介する等支援を行った。また、中小機構の「ebiz」を活用し、希望者には外部専門家と面談いただき支援に繋がった。
	①府施策連携															
②広域連携																
③市町村連携	守口市・門真市については、担当課長が委員会に参加。主に広報や公的施設での消費者への訴求を担当いただいた。															
④相談相乗	既にEC販売に取り組んでいる経営相談事業者を本事業へ誘導した他、EC販売を行っていない事業者に対しては、webサイトの構築方法に関するセミナーを紹介する等支援を行った。また、中小機構の「ebiz」を活用し、希望者には外部専門家と面談いただき支援に繋がった。															
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	70.0	総支援企業数(実績)	72.0	支援実績率	102.9%	満足率	51.4%								
事業全体の実績/目標達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>本ホームページに掲載する各事業所の商品を決定する際、写真の選定やタイトル、説明文章を経営指導員が助言・指導をおこなったことで、消費者に伝わりやすい表現や知っていただきたい情報を改めて検討することができた。また、EC販売を始めたがサイトのPRに苦戦しており売上が伸びていない事業所については、本ホームページに掲載しアクセスを集めることで事業所及び商品のPRに繋がり、売上の向上に寄与したと考える。アクセスは主にSNS広告で集めた。</p> <p>本ホームページを閲覧される方の需要や行動パターンをグーグルアナリティクスにより分析し、参加事業所にフィードバックをおこなった。特にクリック数が少なかった事業所には、写真・説明文章の改善や、商品のPR方法について助言を行った。</p> <p>また、SNS広告だけでなく、守口市・門真市が主催するまつりにて本事業及び参加事業所のPRを行った。ふるさと門真まつりにおいてはPRチラシを配布、守口市民まつりにおいてはPRチラシの配布だけでなく、2店舗出店いただいた。その結果、EC販売の売上増だけでなく、実際にお店へ足を運ぶ方も増えたとの声もあり、更なる売上向上に寄与することができた。</p>															

	代表指標	インターネット販売や予約サイトの改善をおこない、集客につながった事業所の割合				
	数値目標	80%	実績数値	80.6%	目標達成度	100.8%
	成果の代表事例	<p>●守口市内の菓子製造業A社の事例</p> <p>本事業のPRとして、Facebook・Instagram広告を配信しており、当該事業所の商品写真を広告の画像に使用したところ、クリック数が大幅に増加。また、守口市民まつりに出店し、本事業のPRとあわせて事業所のPRを行ったところ、当日の売上だけでなく、来店者増にもつながり事業所も満足していた。ネットでの集客、リアル販売での集客をうまく組み合わせて支援を行うことができた。</p>				
その他目標値の実績	目標値(計画)	6,000名	目標値(実績)	18,948名	目標達成度	315.8%
	SNS広告や守口市・門真市のまつり等でPRを行ったところ、計画段階の目標値を大幅に上回ることができた。					
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>参加事業所全体としては目標値を大幅に上回るクリック数を確保できたが、各事業所のクリック数には大きな差があり、少なかった事業所については満足率も低い傾向にあった。SNS広告に使用した事業所とそうでない事業所とで大きな差があったので、事業所間の公平性を担保するため、広告運用の見直しを図る必要がある。</p>				

守口門真商工会議所

事業名		創業塾	
想定する実施期間		26 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	創業を志す方々に対して、創業に対する心構え、必要とされる手続きや知識を身につけていただき、具体的なビジネスプランの作成を支援する。また、「創業したいが自分に何ができるかわからない」「やりたいことはあるが、それを実現するための方法が分からない」など、創業に対する意欲は高いものの、具体的な実現可能性を描けていない創業希望者に対し創業機運を醸成するような支援を行い、創業を実現させることにより管内の産業活性化を図る。	
	支援する対象 (業種・事業所数等)	おもに門真市・守口市内をメインに大阪府下で創業を希望される方・創業に向けて準備中の方・創業間もない方	
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【実施概要】</p> <p>○創業塾2023</p> <p>日時 令和5年6月4日(日)・6月18日(日)・7月2日(日) 7月16日(日)・7月30日(日)</p> <p>10:00～13:00</p> <p>会場 守口門真商工会館</p> <p>受講者数 56名(申込み72名)</p> <p>講師 中小企業診断士 株式会社クリエート・バリュー 代表取締役</p> <p>【本事業に付随する支援内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、産業競争力強化法に基づく認定市町村(守口市・門真市)から特定創業支援事業に認定されている。本事業受講による経営・財務・人材育成・販路開拓に必要な知識の習得並びに支援証明書取得に向けた支援。 ・当所をはじめとする地域の金融機関、産業支援機関、行政機関等とのネットワークに参加されている金融機関の創業支援メニュー紹介並びに金融機関との融資相談会の開催。 ・新たな創業に向けた取組として、クラウドファンディングを活用した資金調達方法や日本政策金融公庫の事業承継マッチング制度の情報提供を行った。 <p>【PR方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業については、行政機関(大阪府・守口市・門真市)、地域金融機関、大学、専門学校、コワーキングスペースを中心に案内チラシを配布し広報依頼を行った。 ・年度の切替わりによる生活・労働環境が変化する方も対応できるよう、例年より開催時期を1ヶ月前倒して実施した。 <p>また、当所ホームページや会報誌によるPR、鉄道駅へのポスター掲示(京阪電鉄・大阪モノレール)、セミナー情報専門のインターネットサイト、市広報(守口市・門真市)、メールマガジンやSNS等を通じPRを行った。</p>	
		<p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>	
		①府施策連携	カリキュラムとして、大阪起業家グローイングアップ事業について説明。また、ビジネスプラン発表に際しても、ビジネスプランコンテストの参加申込書雛形を使用し、積極的な申込みを勧める。
②広域連携			
③市町村連携	守口市・門真市と協力し、両市ホームページ及び両市広報への掲載、及び両市市役所や行政機関等にチラシを配架頂くなどの広報を行う。また、両市の特定創業支援事業を通じ、証明書発行希望者に対し創業塾の受講証明書を発行。		
④相談相乗	経営相談事業者を本事業へ誘導した他、希望者に対して個別支援を実施し、カルテ化を1件行った。		

	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	38.0	総支援企業数(実績)	56.0	支援実績率	147.4%	満足率	100.0%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<ul style="list-style-type: none"> ○創業にあたってのリスクや心構えの理解 ○経営・財務・人材育成・販路開拓に必要な知識の習得 ○マーケティングミックス・ポジショニングマップの理解 ○営業プロセスの作成及び集客手段の確立 ○収益・資金繰り計画の理解 ○創業予定者同士のディスカッションによる自身の気づき ○自身の事業開始レベルの理解 ○現時点での創業可否の判断 							
	代表指標	創業者数（次年度以降の創業者を含む）							
	数値目標	10名	実績数値	20名	目標達成度	200.0%			
	成果の代表事例	<p>小売業、飲食業や各種サービス業などを創業予定の方や創業して間もない方に参加頂いた。創業後間もない受講者も含めて、特定創業支援事業に基づく証明書発行希望者25名のうち10名が認定証明書を取得。創業塾を通じ必要な知識を得て、創業に向け大きく前進する事例があった。</p> <p>●門真市内での創業者の事例 介護関係の事業所に勤務されていた2名が共同経営で創業に向け創業塾を受講。講義を通じ必要な基礎知識を身に付け、受講後も継続して事業計画のブラッシュアップを重ねることで具体的な課題や自社の強みを把握することが出来た。特定創業支援事業に基づく証明書を取得後、共同出資による法人会社を設立。</p>							
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	<p>創業希望者の事業PRとして例年行っている行政や地域金融機関への案内や新聞折込、鉄道駅でのポスター掲示に加え、セミナー情報専門のインターネットサイトへの情報掲載、SNS広告を活用してPR。その結果、当初定員の40名を超え、72名申込みがあり、大阪府外の方を含め59名が受講された。令和6年度についても、PRの効果を注視しながら、引き続き創業の前段階で踏みとどまっている創業希望者の創業塾への誘導を行っていく。</p>							

守口門真商工会議所

事業名		守口門真ものづくり元気企業						
想定する実施期間		24 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	工業関連企業を取り巻く状況は近年の一層のグローバル化により、他企業との差別化が重要な課題の一つとなっている。そのような中、守口・門真地域の工業活性化を図るべく、差別化を進めるために本年度も「守口門真ものづくり元気企業」を認定する。これは大企業の下請け等で培った多くの魅力的な製造技術、品質管理技術をもつ企業群を1つのパッケージとし、効果的にPRすることを目的とする。また認定企業の中でも、より魅力的な企業を大阪ものづくり優良企業賞や関西ものづくり新撰の認定に向けて支援することで、上位の認定事業申請への取り組みを容易にし、積極的な販路開拓を促す狙いがある。さらに、認定メリットにロゴ使用やHP、パンフレット掲載だけでなく、展示会の出展料補助など、他の販路開拓事業との連携も図る。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	製造業事業所（主たる部会：金属工業部会と一般工業部会の約600社）						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【準備委員会① 令和5年6月13日（火）15時30分～16時30分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集要領、応募申請書、申立書、募集案内、選定委員、選定基準の承認 ・実施スケジュールの確認 ・認定事業所のフォロー状況報告 <p>【元気企業 平成24年～令和4年度認定事業所パンフレット作成】</p> <p>【元気企業応募期間 令和5年7月3日（月）～7月31日（月）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申込4件 <p>※応募企業については経営指導員により、認定事業の効果的な活用方法と申請書作成方法について支援を行った。</p> <p>【選定委員会（書面審査） 令和5年9月28日（木）～10月11日（水）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付企業4社のうち2社について審査を実施。 <p>【会員大会にて認定楯授与 令和5年10月28日（土）15時～】</p>						
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>						
		①府施策連携	認定企業を「大阪ものづくり優良企業賞2023」（中小企業支援室 ものづくり支援課）の推薦に繋げる。（2社申請2社認定、うち1社技術力部門賞受賞）					
	②広域連携							
	③市町村連携	商工担当課の職員が準備委員会等に参加。事業運営全体にアドバイスをいただいている。また、パンフレットを配布することで、当地域のものづくりブランドの発信に努めている。						
	④相談相乗	申請書作成の際、事業内容を明確に把握できるため、大阪ものづくり優良企業賞の申請や、各種補助金申請時に必要な事業計画策定を中心に積極的に支援を拡大させている。						
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	126.0	総支援企業数(実績)	121.0	支援実績率	96.0%	満足率	71.9%

事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>守口市・門真市内のものづくり企業の技術力、製品力等を認定することで、地域を代表とする企業として信用力が高まった。また、当所より積極的な情報発信や販路開拓支援などを行うことでビジネスの拡大に繋がった。詳細は下記の通り。</p> <p>①自社の技術的な強みやQCDレベルの再確認 ②情報発信により技術力・製品力のPRを行い知名度を向上（会議所HP、会議所会報、各認定事業所HP、パンフレット、大阪府内36商工会・商工会議所へパンフレット発送、大規模展示商談会、ショッピングモール設置の掲示板、他各種イベント等） ③認定事業経営者同士の情報交換・交流によるモチベーションの向上 ④大阪ものづくり優良企業賞・各種補助金をはじめとする支援施策の活用推進</p>					
	代表指標	認定事業所のうち自社技術の強みを理解し、PRできた企業割合					
	数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%	
	成果の代表事例	<p>●守口市内の製造業A社の事例 これまで本事業のような認定を受けたことがなかったが、自社技術のPR及び、信頼度を向上させる目的で申請し、認定を受けた。申請書を作成することで自社の強みや課題を把握することができた。また、本ハンズオン支援をきっかけに当社の加工技術をPRするため、総合展示会に出展し販路開拓に繋げることができた。</p>					
その他目標値の実績	目標値 (計画)	122	目標値 (実績)	119	目標達成度	97.5%	
	平成24年度34社、平成25年度9社、平成26年度8社、平成27年度13社、平成28年度10社、平成29年度8社、平成30年度9社、令和元年度10社、令和2年度7社、令和3年度5社、令和4年度6社の合計119社が対象。						
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>守口門真ものづくり元気企業認定に向け、ハンズオンで支援した事業所からの満足度は高かった。さらに過去に認定を受けた事業所からは、展示会出展及びパンフレット等配布による「守口門真ものづくり元気企業ブランド」PRを行ったことで、一定の評価を得ることができた。販路開拓・新規顧客開拓として当所HPでの紹介や認定事業所のみが対象となる大規模展示商談会への出展料補助、今年度より新設した総合展示会「ビジネスチャンス発掘フェア2023」へのチャレンジ出展枠を創設したことで個社のPRを行うことができた。また認定事業所のメリットとして大規模展示会出展料補助やISO等の工業規格の新規取得・更新費用の一部補助を行うことで、自動車・航空宇宙・医療機器関係分野を含む品質管理基準の取得率を高め、地域全体の競争力を強化し、元気企業ブランド向上に努めていく。</p>					

守口門真商工会議所

事業名		万博関連事業受注者登録システム登録促進事業							
想定する実施期間		令和5 年度～ 令和5 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大阪・関西万博の開催にあたり、現状では本地域でそのビジネスチャンスを感じられる機会が少ないと感じている。そのような中、本事業を通じて、経済効果を地域に呼び込むことを目的に実施する。また、本事業をきっかけとして、大東・四條畷・守口・門真市域の事業所同士の連携を促進し、販路開拓につなげる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種を問わず、大阪・関西万博の準備・開催に必要であると想定される商品・サービス・技術等を持った事業所であって、積極的に販路開拓を希望している事業所。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【第一回打合せ会議】</p> <p>日 時：令和5年4月25日（火）15時～16時30分</p> <p>場 所：守口門真商工会館 3階 研修室</p> <p>内 容：日時・場所・交流会のやり方・PR方法等について意見交換</p> <p>【万博商談もずやんモール登録セミナー&1分スピーチ・名刺交換会】</p> <p>日 時：令和5年6月29日（木）14時～17時</p> <p>場 所：守口門真商工会館 3階 特別会議室A～D</p> <p>講 師：大阪府 商工労働部 経営支援課 企画調整グループ</p> <p>参加者：38社44名</p> <p>内 容：1部 万博商談もずやんモール登録手続き等の説明 2部 1分スピーチ・名刺交換会</p> <p>案内方法：FAX、会報記事、会報同封チラシ、ホームページ、SNS、個別訪問、団体事業でPR</p> <p>主 催：守口門真商工会議所、大東商工会議所、四條畷市商工会</p> <p>【実施後の動き】</p> <p>登録フォロー：7月3日（月）～8月10日（木）</p> <p>結果情報共有：8月31日（金）にアンケート結果・フォロー後の登録情報をメールで共有。</p>							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府商工労働部 経営支援課と連携し、セミナー講師やメルマガ等周知において協力体制の下、事業を実施。						
		②広域連携	大東商工会議所、四條畷市商工会と連携し、広域でセミナーの周知を行った。また、実施後のシステム登録に向けたフォローも各地域で行った。						
④相談相乗	1分スピーチ・名刺交換会において広域の事業所が集まる中、販路開拓に繋がった。								
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	60.0	総支援企業数(実績)	41.0	支援実績率	68.3%	満足率	84.1%	
事業全体の実績／目標達成	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>万博商談もずやんモール登録セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> 万博商談もずやんモールのシステムの内容、登録メリット、活用方法の説明 ユーザー登録方法の説明 PR項目の説明 商談までの流れの説明 <p>上記の内容を説明することで、大阪・関西万博を自社事業の販路開拓に活用できると理解してもらうことができた。また、セミナーにおいて実際にスマートフォン等を利用し、登録作業をすることで、その場で登録作業のフォローも行うことができ、オンラインマッチングシステムに不慣れな事業所に対しても丁寧な支援を行うことができた。さらに、大阪府下においてシステム公開後、早期に実施したため、大阪・関西万博の機運醸成効果も高かったと思われる。【登録事業所：32社/38社＝84.2%】</p> <p>1分スピーチ・名刺交換会</p> <p>守口市・門真市・大東市・四條畷市の事業所が参加する中、自社の情報発信と名刺交換を行うことで、販路開拓と人脈拡大に繋がった。大阪・関西万博を活用して新たな事業展開を狙う積極的な事業所同士の繋がりは、万博への関わり方を主体的にする良い影響を与えている。</p>							

度	代表指標	万博関連事業受注者登録システムに登録した事業所の割合				
	数値目標	80.0%	実績数値	84.2%	目標達成度	105.3%
	成果の代表事例	【大阪府門真市内の事業所】 リボンチャレンジなど大阪・関西万博への関わり方を模索していた事業所が、開催前・期中・開催後と関わる事ができる「万博商談もずやんモール」に登録。モールからの受発注は成立しなかったものの、中小企業が積極的に世界的イベントに関わる良いきっかけとなった。				
その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	申込企業数は49社あったものの、計画していた参加企業数に結びつかなかった。セミナーの案内でシステムの存在を知り参加申込をしたが、ビジネスモールに登録済みであるため、参加の優先順位が下がった可能性もある。今後、同様のセミナーや交流会を実施する際には、わかりやすいチラシデザインを心掛けると共に周知の多様化を図り、実施日直前に参加のリマインドを行うなど、申込者の参加率向上を行う。				